



スムーズなスタートとよい実験環境のために

五十嵐 基樹



若手のページ

まず初めに私の紹介を簡単にさせていただきます。

京都大学大学院農学研究科博士課程後期を単位取得退学後、研究職には就かず、現在は医療機器関連の会社に就職し、研究室の新設や増設のトータルプロデューサーになるべく奮闘しているというちょっと変わった経歴を持っています。このため、今回の若手のページはいつもとちょっと異なるかも知れませんが、研究環境、また他分野の苦勞と楽しさ、というテーマで書いてみました。

さて、皆さんが長年研究をしてきて、新たに研究室を持つことになりました。部屋が決まり、テーマが決まり、購入する機器もやっと決まりました。バリバリ研究を始めるぞ！と気合が入り、実際に研究室を見た瞬間、一瞬で情熱が冷めていきます・・・

機器をつなぐ電源（特に200Vの電源）がない！機器が思った場所に入らない！場所には収まったが、扉が開きにくい！！ガス管や水道管がないから、思っていた位置に実験台などが置けない！そして、再び工事が始まり、機器の配置のやり直しが始まり、スタートが遅れていく。

これは作り話ではなく、実際に新設大学や新学部のためたび見られる例です。

近年、アメリカなどではラボデザインという言葉が出てきています。実際にラボをデザインする‘ラボラトリー・デザイナー’という職業もあります。この方々により作られるラボは非常に美しく、以前のように‘黒、白、灰色’ではなく、落ち着いた青や木目調の机や壁が広がっています。もちろん見た目が美しいだけではなく、研究者の立場に立って、非常に機能的に機器類が配置されています。また、今後の設備の増設や再配置などに対応できる拡張性の高い部屋に設計されています。

研究者にとって研究室というのは、住む家よりも長く過ごす場所であることが多いですから、ストレスの溜まる研究室にはしたくないものです。日本でも、アメリカで変わってきているように、いかにも伝統的な無機質な環境ではなく、我が家にいるようなリラックスできる環境で研究をするという考え方になってくると思います。この少子化時代、大学などの教育機関では、学生にとって魅力のある研究室を作るのも非常に重要になってくるのではないのでしょうか？

実際に、どのようなプロセスでラボデザインを行っているのかを、簡単ですが紹介したいと思います。

ラボデザインで最も重要なことは、先生方のご要望に

応じた機器類を、予算内に、限られたスペース内に機能的に配置することです。先生方の必要な機器類をリストアップし、予算内でご要望の製品を探し、仕様なども決めていきます。購入する機器類が決まれば、電源や給排水、ダクトなどが必要かどうかを調べ、CADという建築ソフトを使用し、研究室の図面上に配置していきます。次に、図面で配置した機器や配管類が実際に設置可能なかどうかを建築の観点から確認します。また予算や機能面だけではなく、研究者にストレスを感じさせないように、できるだけ機器類で窓を塞がず、スペースをできるだけ多くとるような配置を考えることも重要です。建築上、無理であれば再配置し、先生に見ていただき、納得いただいた上で、実際に研究施設を整えていきます。

年次ごとに予算が分かると、初年度は一部の機器類を‘仮置き’として配置することも多く、次年度以降を考えた拡張性のある設備にしておくことも重要です。たとえば、あらかじめ配管を床下まで引いてもらい、新たな機器を置くだけということまで考えて、建築業者と話し合い、設備を整えていきます。

私は、このような研究室の設立や増設時の諸問題の解決をお手伝いするソリューション営業部に所属していますが、初めは研究職以外の職業に就くなんて想像もしていませんでした。しかし、私が行っていた研究分野はもとより、他の研究分野の第一線で活躍されている先生方の話が聞けるのは、非常に興味深く楽しいものです。

まだ営業という分野に入って一年にもなっていないため、今までの研究生活ではあまり関連のない分野の勉強もしなければならず、忙しい毎日ですが、非常に充実した日々を送っています。たとえば、建築ソフトであるCADの勉強をしたり、将来的には自分で海外の機器類を輸入できるようにビジネス英語の勉強をしたり、付き合いに備えて？ゴルフの勉強をしたりしています。

最近、営業にとっての情報の重要性を認識できるようになってきました。メーカーから発せられる新製品、新技術の情報の内、各先生方のニーズに合ったものをいち早く伝えることは、会社にはビジネスチャンスを広げますし、先生方からは信頼を獲得することにもつながります。そのためにも日々の勉強、情報収集は欠かせません。

研究者の皆さん、営業の方とはうまく付き合っておあげてくださいね。そうするとお得な情報が誰よりもいち早く伝わってくると思いますよ。

著者紹介 白井松器械株式会社 ソリューション営業部 バイオグループ E-mail: motoki_igarashi@shiraimatsu.co.jp